

答弁書第八〇号

内閣参質一九三第八〇号

平成二十九年四月二十五日

内閣総理大臣 安倍 晋三

参議院議長 伊達 忠一 殿

参議院議員牧山ひろえ君提出今般の世界情勢、特に米軍によるシリア攻撃や北朝鮮情勢に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員牧山ひろえ君提出今般の世界情勢、特に米軍によるシリア攻撃や北朝鮮情勢に関する質問
に対する答弁書

一、三及び四について

シリア情勢を含め、米国とは平素から様々なやり取りを行ってきたが、外交上の個別のやり取りについては相手国との関係もあり、お答えすることは差し控えたい。また、第三国間の外交上のやり取りについては、政府としてお答えする立場にない。

二について

他国政府の意図については、政府としてお答えする立場にない。

五について

仮定の御質問にお答えすることは差し控えたいが、いずれにせよ、政府としては、引き続き、米国と緊密に連携していく考えである。

六について

外交上の個別のやり取りについては相手国との関係もあり、お答えすることは差し控えたいが、いずれ

にせよ、政府としては、引き続き、米国と緊密に連携していく考えである。